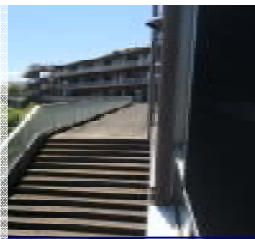


田谷の風

第41号

発行日:令和2年10月10日(四半期発行)
 介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙
 〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3
 TEL:045-858-5882
 発行責任者:吉田憲一



第17回 ケアポート・田谷祭り2020 2020年祭り&敬老会

今年はコロナウイルスの影響でイベントを縮小。初の夏祭り、敬老会を合同で行いました。天候は良かったのに室内と言うのが非常に残念ですが、無事開催する事ができました。

まずは敬老会からの開催です。米寿の方のお祝いから始まり百二歳の方もいらっしゃいました。百二

歳は百二賀とも言うようです。百歳という長寿を目指してご利用者にはいつまでも健康であってほしいと願っております。今回の記念品ですが、職員の中に筆の達人がいまして。色紙に描かれた美しい文字に皆さん感動され眺めては喜んでいました。

筆の達人もご利用者の喜ぶ様子を見て満足そうでした。敬老のお祝いとして『ケアポケッツ』で演奏をさせていただきました。ケアポケッツのメンバーの緊張が伝わったのかご利用者の皆さまも少し緊張しているようでした。「お嫁においでよ」「悲しくてやりきれない」「三線の花」「ふるさと」を演奏させていただき、アンコール後に「上を向いて歩こう」をご利用者と一緒に合唱し、その頃には緊張も解けて大盛り上がりでした。バンド演奏はご利用者にもいつも楽しみにして頂き職員ももっと喜んでもらいたい一心で練習してきたのでうれしく思います。



今後演奏リクエストがあればドシドシ受け付けております。

言葉やお祝い、音楽に文字と五感全てに語りかける素晴らしい敬老会になったのではないのでしょうか。

続いてお祭り。今年のメニューは『カレー』『おでん』『焼きそば』『水羊羹』『ミニお好み焼き』『フランクフルト』『焼き鳥』『フライドポテト』が出ました。やはりいつものメニューと違っておかわりをするご利用者が沢山いらっしゃいました。飲み物も充実していて、ビールを喜ばれる方もいらっしゃ



いました。室内での開催でしたがお祭りの気分を少しでも味わってもらえたかと思います。ご利用者の皆さまは終始笑顔で大変楽しまれていらっしゃいました。

田谷祭りは毎年ご利用者とご家族に楽しんでいただける大きなイベント行事です。コロナウイルス対策の影響で縮小した形となってしまいましたが、来年は天気の良い日に皆さまと外で盛大に楽しめる日が早く来る事を願っています。



2階介護：篠原

来年こそは！



おいしそうな屋台、ご利用者とご家族の語らい、会場全体を包む熱気、

昂揚感。例年であれば当たり前にあったものが存在しない。今年は新型コロナの流行に伴い、お祭り及び敬老会を合同で行い、規模も縮小せざるを得なくなってしまいました。このような状況の中でも、ご利用者に何とか楽しんで頂けるよう職員は準備を進めてきました。

スイカ割りでは思いのほか盛り上がり、スイカに棒を当てて満足そうな表情を浮かべていたご利用者のお顔が、あるいは記念撮影では、少し緊張しつつもおどけてみたり、澄ましたお顔が、あるいは職員のバンドの演奏に合わせて口ずさむ様子が、そしてお祭り用の特別メニューをおいしそうに頬張る様子がたくさん見られたので準備する側と致しましては大

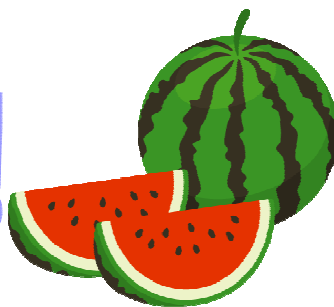


変喜ばしく思いました。

冒頭で書いたとおり今年は当たり前の日常の存在自体が難しかったり、制限があったりといつもととは変わった年ですが、一方で人に対する優しさやおもいやりといった不変なこともたくさんあると思っています。来年は皆で笑いあって、より楽しい夏祭り、敬老会ができるといいですね。

3階介護主任：齋藤

夏だ！スイカ割りだ！



夏といえばスイカ割り！！の季節がやってきました。

今年の夏は非常に厳しい暑さが続き室内にいても、その暑さが伝わってくるようでした。その暑さのおかげもあってかスイカがよく育っているように感じます。スイカ割りに使用したスイカも立派なもので、ご利用者も棒で叩きまくるのは恐縮している様子・・・

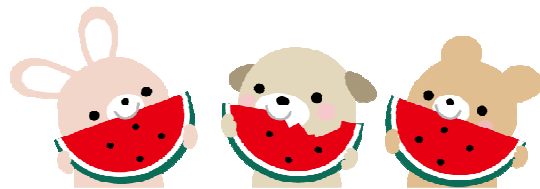
かと思いきや大変盛り上がり思いっきりスイカ割りを楽しんでいただきました。

スイカを割る人は目隠しをして1週から2週回った後スイカに向かっていくのですが、回りにいるご利用者も大声を出し「左！右！そっちじゃないよ～」など大興奮！手拍子や拍手なども沸き起こっていました。何よりビックリしたのは、夢中で楽しんでいるご利用者は、日頃見せないような笑顔に加え、普段は腰や足などの痛みがあるような状態でも動きが活き活きしているように感じました。私達のご高齢者という





ことや活動できる範囲を考えレクリエーションなどを行っていますが、本当に楽しい事というのは自然と笑顔が溢れ体も軽くなり活き活きとする。そんな事を感じました。

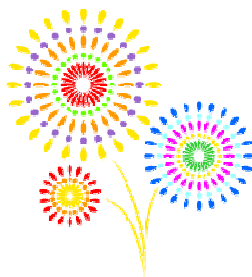


コロナウイルスの影響で外出、面会等も制限されている中でご家族もどのように毎日を過ごしているのか不安に感じている事と思います。ケアポート・田谷では、季節を感じる行事など、職員一同ご利用者の笑顔、安全を第一に日々色々考えてレクリエーション活動を行っています。今回はスイカ割りの様子でした。

少しでもその様子が伝われば幸いです。

看護課長：玉置

恒例！花火大会



田谷祭りのクライマックスとして実施していた恒例の花火ですが、今年は祭りとは別日程で開催されました。ご利用者も職員も、数日前から花火当日の天気を心配していましたが、当日は見事に晴れ。むしろ残暑厳しく、夕方になっても気温が下がらないため、急遽送風機を会場に設置し、熱中症予防に努めました。



夕暮れ時でも蒸し暑い体感でしたが、久々に外に出られたご利用者の皆様は、外の空気にふれて自然と笑顔がみられました。

花火は噴き上げ花火 12 種類と、毎年恒例のナイアガラ花火を行いました。幸い風向きが良く、会場に煙がこもらず綺麗な花火を見ていただけたかと思います。ナイアガラ花火は、支柱間を結んだロープに手持ち花火を数十本取り付けたもので、全ての花火に急いで着火する必要があります。着火係の職員にとっては、成功するかプレッシャーの

かかる大役ですが、今年も綺麗なナイアガラを完成させることが出来ました。会場では大きな拍手・歓声もいただき、今年も無事に花火を終えることが出来ました。

翌朝、ご利用者から「昨日は素敵な花火をありがとうございました」との言葉をい

ただきました。今年は新型コロナの影響で施設内でのイベント自粛や規模縮小を余儀なくされましたが、皆様にとって素敵な時間になったことをうれしく思います。

リハビリテーション科副主任：坂本一樹



わくわくマジックショー



ここ数年敬老会のイベントは「歌謡ショー」を楽しんで頂いていましたが、今年は諸々の事情により趣向を替えて行いました。

最初に敬老の日の由来と長寿祝いの種類についてクイズ形式でご利用者の皆様と再確認しました。次はいよいよ ♪チャララララ～♪ のメロディと共にマジックショーの始まりです。(職員が三日三晩徹夜をして練習したとか) 演目は5つです。1つ目は「リンキング」。直径10cmのリング4本をつなげたり離したり・・・緊張のためかちょっと失敗があったようですが全然気づかれず拍手! 2つ目は「予言の紙」封筒に入れた紙をしっかりと予言。3つ目は色とりどりの空っぽの筒の中からあら不思議! きれいな花が次々と・・・「わあー」と歓声が上がりこれが一番受けました。4つ目は「不思議な新聞紙」新聞紙の中にいれた水が消えてしまう・・・最後は封筒から風船カードが出てきて「敬老会おめでとう」

ご利用者からは「近くで手品が見られて良かった」「どれも全然分からない。良く練習したね。」「自分も習ってやってみたい」等々の感想を頂きました。

今年のプレゼントは、皆様で作った壁画を背景に撮った写真にメッセージを加え、壁に飾れるようパウチして紐をつけたカードです。皆様とてもよい笑顔のお写真でした。どうぞいつまでもお元気でお過ごし下さい。 通所リハ支援相談員：酒井



あなたのふるさとの風景は・・・



毎年お祭りの記念写真の背景画はデイケアで担当させて頂いています。ここ数年は職員の佐久間(昨年度までデイケア介護職員で今年度より庶務)の水彩画とデイケアご利用者の手作り作品との共同で制作しています。今回のテーマは「ふるさと」です。この絵にこめた想いを佐久間職員に聞いてみました。

「皆様いかがお過ごしですか。気象の変化やコロナ等々、大変厳しい状況の中ですがめげずに頑張りましょう。早く優しい自然の姿に戻ってほしいものです。自然は海も山も川も空も本当に素晴らしいと思います。」

今回デイケアの皆様のご協力で、私のふるさとの宮城県の農村の風景を思い浮かべて描きました。水車小屋というヒントを頂き描き始めたら小川はもちろん、コスモスの花も柿の木もとどんどん想像がふくらみ最初のイメージと少し違ったものになりましたが、そこでまた『柿の実立体的に』という提案を頂きデイケアご利用者の皆様に大きい柿、小さい柿をたくさん作って頂きました。



貼り付けてみるとバッグの青空にオレンジの柿がピッタリ。うまそうに見えませんか。どうぞ手を伸ばして下さい。ふるさとはそれぞれですが『こんな風景もいいね』と思って頂き、そしてご自分のふるさとを思い浮かべて頂けたらうれしい限りです」

通所リハ支援相談員：酒井